

平成 29 年第 2 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 29 年 2 月 13 日（月） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 49 分

○場 所 三浦市役所第 2 分館第 1 会合室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

松 尾 恒 廣 委員、 下 里 矩 生 委員

4 教育長報告

(1)平成 29 年 1 月・2 月の事業・行事等について

(2)いじめ防止対策を推進するための申し合わせ事項について

(3)平成 29 年度高等学校入学試験について

(4)平成 29 年第 1 回三浦市議会定例会について

(5)平成 28 年度市内小・中学校卒業式について

(6)第 35 回三浦国際市民マラソンについて

5 報告事項

(1)平成 29 年 1 月の後援名義等使用について

(2)一般社団法人みうら学・海洋教育研究所の活動内容について

6 審議事項

(1)議案第 2 号 平成 29 年度三浦市一般会計予算に関する申出について

(2)議案第 3 号 県費負担教職員の人事異動について

7 その他の事業について

(1)平成 28 年度市内小・中学校卒業式について

(2)第 20 回学校給食展の開催について

(3)第 35 回三浦国際市民マラソンの開催について

(4)第 71 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について

(5)平成 28 年度みうらっ子ライブラリー ～図書館ビンゴ～の開催結果について

(6)平成 28 年度みうらっ子ライブラリー ～ひみつのタネ調査隊及び読書スタンプラリー～
の開催について

(7)三浦市社会教育講座 料理講座「春の飾り巻き寿司」の開催について

(8)三浦市社会教育講座「親子農業体験教室」の開催について

(9)三浦市社会教育講座「子ども料理教室」～手作りソーセージとパンケーキ～の開催につい
て

8 その他

9 閉 会

○出席委員（５名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 恵
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	五十嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
文化スポーツ課長	堀 越 修 一	南下浦市民センター館長	小 川 史 郎
青少年教育課長兼図書館長	安 藤 宜 尚	学校教育課主幹(指導主事)	高 梨 真 一
みうら学・海洋教育研究所事務局長	洪 谷 総 一		

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
-------------------	---------

○傍 聴（１名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成29年第2回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成29年第1回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に松尾委員と下里委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○三壁教育長 それでは、次第4「教育長報告」になります。

私から報告をいたします。

1月の定例教育委員会が1月27日に開催されました。

そして2回目が本日ということで、あまり日が経っていない状況にあります。

これは、3月議会の関係で他の月とは違っております。

後ほど、議会の関係は私から報告をいたしますが、そういった関係で本日13日ということになりました。

私から6点報告をさせていただきます。

まず1点目は、1月28日から昨日までの間に行事が行われておりまして、特にその中で、1月28日の東京大学三崎臨海実験所創立130周年記念式典、併せてシンポジウムが開催されました。

委員の皆さんにはご出席をいただき、ありがとうございました。

これは後ほど渋谷事務局長から、みうら学・海洋教育研究所における海洋教育の実践についてと、28日に話されたことも含めて説明があると思います。

私からは、ぜひシンポジウムの関係で委員の皆さんに感想があれば渋谷事務局長の後にお話をいただければ良いなと思っております。

それからもう1つが、昨日、第71回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会がございました。

これも後ほど文化スポーツ課長から報告がございますが、19位と成績はあまり振るわなかったのですが、1日がかかりで選手が頑張ったということを報告しておきます。

2点目は、前回の定例教育委員会でお話をさせていただきました、臨時県・市町村教育委員会教育長会議がありました。

これは、いじめについてということで、その後、2月9日に県・市町村教育委員会教育長会議がありました。

前回の定例教育委員会では、いじめ防止対策を推進するための5項目の申し合わせ事項があるというお話をさせていただきました。

この申し合わせ事項の案が2月9日の会議で確認をされ、正式なものとなりましたので、いまそれを口頭で読み上げたいと思います。

「いじめ防止対策を推進するための申し合わせ事項

県・市町村の教育委員会、各学校では、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの未然防止や、早期の発見、適切な対応に努めてきたところです。

今回、本県で発生した、東日本大震災で被災した児童・生徒に対するいじめ問題を踏まえ、県・市町村の教育長は、各教育委員会及び学校におけるいじめ防止対策を一層推進するために、次の事項を申し合わせます。

- 1 教育委員会職員及び学校教職員一人ひとりが、いじめ防止対策推進法及びそれぞれのいじめ防止基本方針に基づく適切な対応を改めて徹底する取組みを進めます。
- 2 いじめ防止について、児童・生徒が積極的に関わる取組みを進めます。
- 3 保護者や地域住民にいじめの定義を周知するなど、いじめ防止への理解を促進する取組みを進めます。
- 4 被災児童・生徒について、見守りや実態把握に努めるとともに、心のケアなど必要な支援に取り組めます。
- 5 東日本大震災や福島第一原子力発電所事故による被災等について、児童・生徒が理解を深め、考えることができるよう取り組めます。

平成29年2月9日

神奈川県教育委員会教育長

神奈川県各市町村教育委員会教育長」

このことが確認されました。

以上が、1月の臨時会議から学校教育課長会議を経て2月9日に県市町村教育長会議で承認された事項であります。

これを報告させていただきます。

これから報道もされるかというそういう状況にあるということでございます。

3点目です。

高校入試の関係で、校長先生方や現場の先生方はインフルエンザのことを心配しておられると思います。

公立高校については2月15日から面接等も含めて17日まで実施され、この間、インフルエンザによって受験できない子どもがいないことを祈りますが、そういう子どもたちのために、場合によっては学校から受験校に連絡をして何らかの措置をもらうというふうなことが確認されています。

4点目は、3月市議会の関係です。

今回は予算議会ということで、2月27日から3月22日までの約1か月に亘ります。

その前に、今日、予算に関する申出について、教育委員の皆さまにご審議いただきます。

これを受けて、3月議会の予算委員会等に臨んでいくということでございます。

5点目は、本日の次第にも入っています市内小・中学校の卒業式の関係でございます。

これは後ほど各校への出席者を決めるという状況が出てきますので、よろしくお願いします。

最後に6点目は、3月5日（日）に第35回三浦国際市民マラソンが開催されます。

後ほど文化スポーツ課長から詳細についてご案内をさせていただきます。

半日のイベントではありますが、例年、教育委員さんには開会式にご出席いただいています。

その場合には三浦海岸の砂浜にお集まりいただいて、8時からの開会式に臨んで、あとは適宜レースを見ていただくなどよろしくお願いします。

私からは以上6点、報告をさせていただきます。

○三壁教育長 報告が終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 よろしいですか。なければ教育長報告を終了いたします。

それでは、次第5「報告事項」に入ります。

(1)平成29年1月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長 平成29年1月の後援名義等の使用についてご報告いたします。

議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成29年1月に資料記載の文化スポーツ課関係の申請7件について、承認をいたしました。

内容等についてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明いたします。

○三壁教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 No.5とNo.6の三浦市サッカー協会4種委員会に対しては、年間を通して後援をしていると思いますが、この団体の事業への1年間の後援件数はわかりますか。

○堀越文化スポーツ課長 三浦市サッカー協会第4種委員会によります後援名義使用につきましては、平成27年度の実績で申し上げますと、年間で約11件でございます。

○三壁教育長 後援をした場合の使用料の減免についてはどうなっていますか。

○堀越文化スポーツ課長 少しお時間をいただけますでしょうか。

○三壁教育長 調べて後ほど回答してください。

○三壁教育長 他にございますか。なければ続きまして、(2)一般社団法人みうら学・海洋教育研究所の活動内容について、報告をお願いいたします。

今回、渋谷事務局長から説明がございしますが、高梨指導主事も学校教育関係と研究所との関わりもございしますので、同席をしております。

それでは、渋谷事務局長、説明をお願いいたします。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長

こんにちは、貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、本研究所の活動内容についてご説明いたします。

主に、28日の東京大学三崎臨海実験所創立130周年記念シンポジウムの時の資料を使いますが、当日は委員の皆さまがご出席でしたので、シンポジウムでご案内できなかったところを中心に、ご説明していきたいと思います。

本研究所は、平成27年3月8日に設立されました。

三浦市教育委員会と連携して、市内小中学校の体験型授業を中心とした海洋教育の支援を行っています。

これが研究所のマークです。

カリキュラム開発、人材育成、基盤整備という3つの柱がございまして、今年度についてはこの3つの柱で進めていきます。

1つ目のカリキュラム開発については、一番左から、これまでの海洋教育実践、過去4年間、東京大学と三浦市が連携して実践してきたことの整理・発信をしていきます。

新しい教材の開発ももちろん行っています。

義務教育9年間を通したモデルカリキュラムの作成が最終的な目標です。

一番左の写真が、4つの小学校で行いましたマダいの放流の様子です。

後で動画をお見せします。

その隣が真珠の核入りで、これは名向小学校で行いました。

一番右が、名向小学校の磯観察の写真です。

新しい部分として一番左側の写真が、JAMSTEC（海洋研究開発機構）の職員による講演会です。

初声中学校ではすでに終わりました、明後日三崎中学校で、3月1日に南下浦中学校で同様の講演会が行われます。

講師はJAMSTECの「しんかい6500」のパイロットで、三崎中学校と南下浦中学校のOBでもあり、三浦市の出身者ということで企画いたしました。

真ん中が、昨年10月に三浦市と提携を結びました県立海洋科学高校のご配慮で実現した、実習船「湘南丸」の見学会です。

これについては、岬陽小学校の3年生が今日ちょうど同じ時間帯に保護者向けの発表会で発表しています。

一番上が、南下浦小学校の子どもたちが高抜の海岸でいろんな物を採取してきては分類しています。

右端にいる先生が『これはこっちの仲間だよ。』みたいなことを教えてくれたりして、自分たちの水族館を作るという取り組みを行いました。

<ここで動画を上映>

これは小網代湾でのマダいの放流です。

今までは岸壁からバケツで放流していましたが、子どもの安全のことも考えて、今回は滑り台を使って放流しました。

2つ目の人材育成については、2年目の教員全員をみうら学研員として委嘱しまして、一番左の写真が委嘱式の様子です。

真ん中が、海上で働く女性のお話を聞いた海洋教育研修会です。

一番右が、JAMSTECの見学会で、「しんかい6500」の実物も見せていただきました。続いて、左側が初声中学校の海洋学習係です。

これは有志の集まりで、部活動でも委員会活動でもありません。

たくさんの有志が集まって、いろんな物を黒崎の海等で採取し、飼っています。

これはタツノオトシゴですが、私が行った時には3匹いましたが、今は1匹だけになっているようですが、継続して飼っています。

右側が、海洋教育写真コンテストの表彰式の様子で、今日は入選作品の全てをそちらの壁に展示しましたので、後ほどもし時間があればご覧ください。

3つ目の基盤整備については、市内の小中学校に海洋教育関連の物品や図書をお配りしました。

防水グッズや津波関係の書籍等、いろんな物を配りました。

この3枚の写真は、いずれも小学校の先生方を対象とした見学会の様子です。

社会科の先生方が、ぜひ真珠の養殖の様子を見たいということで、小パール隊（小網代パール海育隊）の協力を得て行ったものです。

これが名向小学校の真珠の核入れの様子で、難しい作業ですが、子どもたちが真剣に取り組んでいました。

今度は、先ほどお話した初声中学校の海洋学習係を中心とした有志の24名が小パール隊海の教室に参加した時の写真で、この1番左が貝を掃除している様子です。

貝にはいろんな物が付着します。

ゴカイなども付きます。

カメノテやホヤなども付きます。

それらを専用の道具を使って全部落とすのですが、落とさないと貝がこのようなにならないのだそうです。

この作業を月に2回ぐらい行っており、この時にお手伝いに行きました。

真ん中は、真珠の核入れを体験させてもらった時の写真です。

ここからは、先日うらりで行われましたシンポジウムの時の写真です。

左が私が話しているところで、右が名向小学校の子どもたちです。

大変立派な発表でした。

続きまして、2月5日（日）に東京大学本郷キャンパスで第4回全国海洋教育サミットが行われました。

そこに初声中学校の生徒が5名参加しまして、右側の自分たちが作ったポスターに関して質問を受け、それに答えました。

左側が、教育委員会と私たちの研究所で作ったポスターです。

ポスターは、実物が後ろに貼ってあります。

あのポスターについて質問を受けて、それに対していろいろお答えしました。

25 分間でしたが、いろいろな質問が出て大変盛り上がりました。

最終的には、日常の教育活動の一環として当たり前に海洋教育に取り組む教員の姿を目指しています。

そして、三浦に誇りを持ち、これからの社会をたくましく生き抜く人材の育成を最終目標としています。

以上で説明を終わります。

ありがとうございます。

○三壁教育長 はい、ありがとうございます。

報告が終わりました。

先ほどの教育長報告でも触れましたが、海洋教育そのものでも 1 月 28 日に開催されたシンポジウムに関することでも結構ですので、もし委員さんで何かご質問やご感想等がございましたらお願いいたします。

○下里委員 いまの説明の中で紹介された学校は一部だと思いますが、今後、どのように市内の全小中学校に海洋教育を展開していく予定なのか、教えてください。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長 小学校については、真珠の核入れやマダイの放流を全校でできないかというような話も出ていまして、実施方法について検討していますが、最も難しいのは子どもたちの輸送手段です。

その辺を工夫しながら活動を広げていく予定です。

また、1 年間の海洋教育の取組みについて発表し合う場として、「（仮称）海洋教育のつどい」を設けようと企画しています。

全校が参加できるかはわかりませんが、数校が発表してあとはポスターセッションのような形で行えればと考えています。

中学校については、海の教室を小パール隊と協力し合いながら海洋科学高校の生徒にも参加していただき実施していきたいと思っており、場合によっては小学校の海洋教育のつどいに中学生に来ていただき先輩として発表してもらうなども考えています。

そのように活動を広げていく計画をしています。

○下里委員 来年度の具体的な年間計画がもしできていれば教えてください。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長 来年度の年間計画については、資料にあります今年度の事業一覧と同様のものを現在鋭意作成中でございます。

○松尾委員 感想ですが、名向小学校の研究発表については、三浦の真珠について本当に的確にまとめられていて、端的に表現されていたような感じで良かったなと思います。

子どもたちのきびきびとした態度に感銘を覚えた聴衆が多数いたのではないかと思います。

大変素晴らしい内容と発表態度だったということについては、担当の先生にぜひお伝えください。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長 はい、ありがとうございます。

○松尾委員 シンポジウムについて、形に捉われない内容で、良い表現を各々がされたなと思っています。

山田五郎さんは三浦に造詣が深いなと感じました。

三浦の将来を見据えたような発言もされておりました。また、他の方の発言も素晴らしく、良い形が見えて本当に良かったと思います。

ところで、先ほど海洋科学高校との連携があると説明していましたが、いま児童・生徒数が減少している状況の中で、海洋科学高校の募集定員と生徒数はどうなっているのか教えてください。

また、将来的には湘南丸による実習等の規模が維持できるのかについても教えてください。

○五十嵐学校教育課長 定員につきましては、いま手元に資料がございませんので、後ほどお知らせしたいと思います。

また、海洋科学高校との連携につきましては、今後も継続して進めていくことが可能であると考え、湘南丸に乗せていただくだけではなくて、市内の小中児童等が出向いたり、海洋科学高校の生徒さんがこちらに来たりということで、小中学生と関わりながら取組みを進めていくというようなこと等、現在いろいろと相談をしているところでございます。

○三壁教育長 松尾委員から、名向小学校の子どもたちに非常に感動したというお話がございました。

その数日後、五十嵐課長とともに名向小学校に出向きまして、発表した12名の子どもたちに直接私がありがとうと言いたかったのですが、校長先生の話では、2クラスの児童全員が1年間この授業に取り組んだ成果であって、他にも発表の可能性があった子どもがいたみたいでしたが、その中で結局12名を選んだのだそうです。

保護者の皆さんに同じ報告をする機会があり、私がお邪魔したのはちょうどその日でした。

まだ保護者は来ていませんでしたが、子どもたち45人、皆さんの前で教育委員会を代表して、非常に感動したと、お礼を言ってきました。

いまお話が出ましたので、報告をさせていただきます。

○菊池教育長職務代理 カリキュラムの開発や人材の育成などについて、実績をこれからどのように蓄積していったらいいのか、その方向性のようなものをわかっている範囲で教えてください。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長 今年度については、手探り状態の部分もございまして、とにかく間口を広げる、いろんなことをやる、ということで、その一覧表を見ていただければわかりますが、たくさんの活動をしてきました。

今後は、日本財団にも相談しておりますが、もう少し絞って活動していきたいと考えています。

その1つの例が先ほどお話した海洋教育のつどいや海の教室で、その辺がメインになってくるのかなと思ってしまして、写真コンテストもそうですが、子どもたちの関心をどんどん高めて、海の教室は中高生が対象ですので、参加した子どもたちが卒業してから将来ボランティアで手伝いに来てもらうなどができればと考えており、全体的にはもう少し活動の幅を絞ることによって、ある程度の方角性を出したいと考えています。

先ほど湘南丸の話が出ましたが、私が海洋科学高校の先生に聞いたところでは、3年後に新しい湘南丸の船が造られることが決められているとのこと。

○菊池教育長職務代理　まだ始まったばかりですし、間口を広く行っていますので、いまは単発的ないろいろなことを行っていると思います。

それらが何かもう少し見えるような形でまとまれば良いなと思っております。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長　ありがとうございます。

○松尾委員　真珠の養殖などについては何の教科で行っていますか。

○高梨学校教育課主幹(指導主事)　真珠に関しては、主に総合の時間になっています。

先ほど話がありましたが、いま当面の目標は、3年間でモデルカリキュラムを作りたいということ。

過去の実践を集めて、各学年で学ぶ海洋教育の内容について検討していきますが、各学年で何を学ぶかについては、それをなぜこの学年で学ぶのかという学ぶ意義等を系統付けて、今後3年間かけて、9年間のカリキュラムを作っていきたいと思っています。

今年は検証の年という形です。

○松尾委員　基本的には総合的な学習の時間で行うわけですね。

○高梨学校教育課主幹(指導主事)　はい。

○松尾委員　それなら総合的な学習の時間の年間のカリキュラムをきちんと位置付けて系統的にして、見せるということが大事ならば、先ほど下里委員がおっしゃったような形が他の学校もきちんとわかるということなので、その総合的な学習の時間のカリキュラムをぜひこれに付けていただければありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○下里委員　いま、三浦半島の沿岸漁業に携わる人たちの平均年齢は何歳ぐらいだと把握されていますか。

というのは、先日、同級生の漁師と会う機会がありまして、『いま、三浦の漁師の平均年齢っていくつぐらいなんだろう。』と聞いたら、『70歳は超えているのではないかな。』とされました。

そのことから、将来三浦の漁業に携わる人材の育成も含めてどういう方向で海洋教育を行っていくのかということも含めて、きちんとした計画を立てていってほしいなと思います。

ぜひ長期的に三浦の漁業を考えて、カリキュラムを作っていただけたらと思いました。
よろしくお願いします。

○三壁教育長 この海洋教育については、平成 24 年に東京大学三崎臨海実験所と三浦市が連携協定を結んでから 4 年が経過して、その間、先ほど話が出た総合学習等の中でまずは名向小から始まって他の小中学校に広げてきました。

東京大学の援助をいただきながら、学校教育課がこれに関わって 4 年間実施してきました。

そして、今年度はみうら学・海洋教育研究所が一般社団法人として設立されました。

これは教育委員会と連携をしながら、日本財団から補助金をいただいて、研究所が独自でいま活動しているという状況がある中で、これにはもちろん学校を外せません。

ただ、真珠の養殖については、これを産業につなげたいという市や企業の構想などがあります。

しかし、我々教育委員会はそれに捉われないで、学校独自の教育と海洋教育とのバランスを考える必要があります。

学力向上のためには海洋教育だけでは済まないということも考えなくてははいけません。

ただ、特色ある授業ということでは、海洋教育を三浦のセールスポイントにしていかなければいけないという中で、いま委員さんがお話された気持ちが膨らむわけです。

そういうことの 1 つ 1 つに丁寧に関わっていかなければなりません。

いま、研究所は財団から補助金をいただきながら活動していますが、これがいつまで続くかも懸念されます。

運営費が全て自主財源で賄えれば最良ですが、いまは助けていただきながら海洋教育を広めていくのが現実的です。

そういう意味では今年度が初年度で、もうすぐ来年度になります。

その辺のことを教育委員の皆さんは心配されての質問だと思うので、研究所と教育委員会が連携を取りながらこれからも実践していただきたいと思います。

○玉井委員 感想ですが、私は海洋教育については勉強不足だったので、シンポジウムは、ただただ三浦の未来がすごく膨らんだ時間でした。

たくさんのお客さんが来ていたので、三浦のアピールのためにもあれだけにしないで、定例的に開催できたら良いなと思いました。

○松尾委員 海洋教育全体計画図について、以前、学校教育課の全体構想図というのを見せていただきましたが、これは全部三浦らしい教育ということに結び付くので、構想的に少し考えた方が良いのではないのでしょうか。

要するに、教育目標の上に三浦らしい教育というのがやはり付かざるを得ないです。

これは各学校の研究構想図を見ていると全部そうなっていますので、そういう形で少し練られた方が良いのではないのでしょうか。

中央にみうら学・海洋教育研究所という文字が入らなくても上に持っていくなり何なりすれば構わないと思います。

それらが全て三浦らしい教育の推進だということがわかるような形で、ぜひ三浦らしい教育

を入れてください。

○五十嵐学校教育課長 先ほど松尾委員さんからご質問がありました、海洋科学高校の定員につきまして調べることができました。

一般と船舶運航の2つの科がございまして、定員としましては、一般が118名、船舶運航が39名でございます。

この後入学検査がありますが、応募状況としては、現在のところ一般が107名で定員を少し割っている状況で、船舶運航は54名で定員を超えている状況でございます。

○松尾委員 なぜそんな質問をしたかという、海洋科学高校への応募状況が少なくなっている、将来的に不安だなと思ったからです。

『ひょっとしたら湘南丸はもうなくなるのではないか。』という感じの言い方をする人もシンポジウムの聴衆の中にいられたものですから、お聞きしました。

○五十嵐学校教育課長 今回資料として出させていただいた全体計画につきまして、松尾委員さんのおっしゃるとおりでございまして、教育委員会としては子どもたちの豊かな学び、三浦らしい教育の実現に海洋教育が有効であるというスタンスで、全体計画の中に位置付けて進めておりまして、学校教育課で作成しております全体構想の中では、その一部として入れさせていただいており、今回、わかり易いような形で出させていただいておりますので、ご理解いただければと思っております。

○三壁教育長 他にございますか。

ないようですので、それではお二人、退席して結構です。

○渋谷みうら学・海洋教育研究所事務局長 ありがとうございました。

(渋谷事務局長・高梨主幹(指導主事) 退室)

○三壁教育長 それでは、次第6「審議事項」に入りたいと思いますが、その前にここで会議の非公開についてお諮りをいたします。

議案第3号「県費負担教職員の人事異動について」は、人事に関する案件になりますので、この議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第7項ただし書きにより非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

ご異議ないようですので、議案第3号「県費負担教職員の人事異動について」は、「その他」のあと非公開での審議といたします。

○三壁教育長 それでは、議案第2号 平成29年度三浦市一般会計予算に関する申出について
を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○増井教育総務課長 議案第2号 平成29年度三浦市一般会計予算に関する申出について、ご
説明いたします。

議案・資料2ページ、資料3をご覧ください。

本議案は、平成29年第1回三浦市議会定例会で議決を得るべき事案である平成29年度三浦
市一般会計予算につきまして、別添資料のとおり市長に申し出ることについて承認を求めるも
のです。

まず、歳入についてでございます。

平成28年度に比べ、144.57%増の2億126万6,000円を計上いたします。

内訳をご説明いたします。

教育使用料は、南下浦市民センター使用料204万円、初声市民センター使用料160万2,000
円のほか、行政財産目的外使用料など675万円を計上いたしました。

教育費国庫補助金は、学校施設環境改善交付金491万2,000円、遺跡発掘調査費補助金100
万円など755万円を計上いたしました。

教育費県補助金は、市町村事業推進交付金57万1,000円など160万3,000円を計上いたしま
した。

教育費委託金は、人権教育総合推進地域事業委託金90万円など148万円を計上いたしました。

財産貸付収入は、土地貸付収入1,374万円など1,504万1,000円を計上いたしました。

教育寄附金は、科目設定として1,000円計上いたしました。

基金繰入金は、地域活性化推進事業基金繰入金5,000万円など5,432万円を計上いたしま
した。

教育貸付金元利収入は、奨学貸付金返還金300万円を計上いたしました。

雑入は、日本スポーツ振興センター災害共済掛金保護者負担金104万3,000円など242万
1,000円を計上いたしました。

教育債は、小学校債の借換5,760万円、中学校債の借換3,290万円など1億910万円を計上
いたしました。

続きまして、歳出についてです。

教育費合計で、平成28年度に比べ11.2%増の8億856万6,000円を計上いたします。

項目別の予算額及び大きな増減があった理由についてご説明いたします。

教育総務費のうち教育委員会費は、430万円を計上いたします。

事務局費は、奨学基金積立を新たに行うことほかのため5,607万7,000円を増額し、1億8,639
万3,000円を計上いたします。

教育指導費は、看護介助員の配置、県委託の教育研究事業の実施ほかのため298万2,000円
を増額し、2,983万4,000円を計上いたします。

小学校費のうち、学校管理費は、空調設備の設置ほかを行うため832万2,000円を増額し、
7,700万3,000円を計上いたします。

教育振興費は、業務用パソコンの更新ほかを行うため671万5,000円を増額し、5,523万5,000

円を計上いたします。

中学校費のうち学校管理費は、3,731万7,000円を計上いたします。

教育振興費は、業務用パソコンの更新ほかを行うため511万3,000円を増額し、3,334万9,000円を計上いたします。

学校給食費は、1億7,545万9,000円を計上いたします。

社会教育費のうち、社会教育総務費は、人件費の減などにより272万6,000円を減額し、6,446万6,000円を計上いたします。

文化財保護費は463万円、南下浦市民センター費は631万4,000円、初声市民センター費は614万2,000円、図書館費は1,817万3,000円、青少年教育費は337万7,000円を計上いたします。

青少年育成施設費は、旧和田児童会館の解体ほかのため306万6,000円を増額し、894万6,000円を計上いたします。

市民ホール費は、1,884万1,000円を計上いたします。

保健体育費のうち保健体育総務費は、2,241万1,000円を計上いたします。

体育施設費は、三浦市総合体育館の設備交換ほかのため440万9,000円を増額し5,637万6,000円を計上いたします。

公立学校施設災害復旧費は、科目設定のため1,000円を計上いたします。

厳しい財政事情のなか、保護者負担の増をお願いする部分もございますが、財政担当との調整によりまして、教育に要する予算は、全体で約1割、金額にして約8,000万円の増を計上し、案といたしました。

ご審議をお願いいたします。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 この案件については、これまで教育委員会事務局と財政当局とで数か月間調整をし、今月10日の政策会議で承認をいただいて、これから3月の議会に上程するというその手前の教育委員会での申出ということであります。

○菊池教育長職務代理 国庫補助金がかなり増額されておりますが、増えている主なものは何ですか。

○増井教育総務課長 主に、学校施設の改善に要する費用が、今年度につきましては南下浦小学校の屋根の雨漏りの改修1件でございましたものが、平成29年度の予定としては、旭小学校と岬陽小学校の職員室、そのほか保健室や図書室に空調設備を設置するという予算立てをいたしまして、その分で歳出予算がかなり増えましたので、歳入の国庫補助金も増額しているということでございます。

○菊池教育長職務代理 埋蔵文化財についてはどうですか。

○増井教育総務課長 増減はありません。

○菊池教育長職務代理 今年度並みに確保できたということですね。

○三壁教育長 昨年、議会として調査を実施していただいたり、市長や教育委員会宛に申出があったりというようなことで、3月の議会においては、議員さん方も小中学校の施設については関心がいつもよりだいぶあると認識しております。

ただ、当初予算でなかなか整備できない部分については、やはり補正ということも含めて、これから財政当局には考えていただいていくのかなと思いますが、最初から補正という話にはならないので、これで教育委員会申出という形をとって、先に進められればと思っています。

○三壁教育長 他にございますか。なければお諮りいたします。

議案第2号「平成29年度三浦市一般会計予算に関する申出について」、原案のとおりとすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。

ご異議ないようですので、そのように決しました。

○三壁教育長 それでは、次第7「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)平成28年度市内小・中学校卒業式について、説明をお願いいたします。

○大西教育部長 日程等の説明の前に、私からお願いがございます。

小中学校の卒業式につきましては、先ほど教育長からの報告がございました。

三浦市議会の第1回の定例会が2月20日(月)、告示でございまして、3月22日(水)までとなっておりますので、卒業式と重なっているということがございます。

3月10日と17日につきましては、議会側の配慮もございまして、予備日となっておりますが、昨年も今年と同様に予備日で配慮をいただいた形でございましたが、2日間予定どおりとはならず、教育長の出席につきまして、皆さま方にご迷惑をお掛けいたしました。

この経験から、今年もまたご迷惑をお掛けする場合も予想されますので、教育長等の出席につきましては難しいのではないかと考えているところでございます。

この辺のところを含めてご協議いただければありがたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

なお、詳細につきましては、担当よりご報告をさせていただきます。

以上です。

○五十嵐学校教育課長 それでは、議案・資料6ページ、資料5をご覧ください。

平成28年度市内小・中学校卒業式の出席者についてということで、お示しをさせていただいております。

実施日につきましては、小学校が3月17日（金）、中学校が3月10日（金）となっております。

中学校の方が早い日程で行われるところでございます。

開式の時刻等につきましては、こちらに記載されているとおりでございますので、よろしくお願いしたいと思います。

例年、この場におきまして、教育委員の皆さまの出席についてご検討いただいているところでございます。

よろしければ、どちらの学校にご出席していただけるか、お決めいただけるとありがたいと思っております。

以上です。

○三壁教育長 はい、ありがとうございます。

説明は終わりました。

それでは、まずは中学校の卒業式について、委員の皆さんで、昨年と同様にこの場でお決めいただければと思います。

事務局から、学校について何か付け加えることがありますか。

○五十嵐学校教育課長 今回、特にということでお話をさせていただければ、中学校につきましては、中学校校長会会長は三崎中学校の武田校長でありますということ、それから三崎中学校の武田校長並びに初声中学校の島田校長については、この3月をもって定年退職ということでございます。

小学校につきましては、小学校校長会会長は南下浦小学校の毛利校長でありますということと、南下浦小学校の毛利校長と剣崎小学校の石渡校長につきましては、この3月において定年退職ということで、例年お決めいただく際に話題になっているところですので、ご説明させていただきました。

（各委員 協議）

○三壁教育長 それでは、三崎中学校に菊池職務代理、南下浦中学校に下里委員と玉井委員、初声中学校に松尾委員ということでよろしいですか。

（各委員 了承）

○三壁教育長 次に小学校ですが、基本的に教育委員さんとあと学校教育課での対応ですか。

○五十嵐学校教育課長 学校教育課で対応させていただきます。

（各委員 協議）

○三壁教育長 それでは、岬陽小学校に下里委員、南下浦小学校に菊池職務代理、上宮田小学校に松尾委員、初声小学校に玉井委員ということでよろしいですか。

(各委員 了承)

○三壁教育長 それでは、それぞれご出席をよろしくお願いいたします。

あとは学校教育課で整理してください。

続きまして、(2)第 20 回学校給食展の開催について、説明をお願いいたします。

○松下学校給食課長 第 20 回三浦市学校給食展の開催について、ご案内させていただきます。

議案・資料 7 ページ、資料 6 をご覧ください。

今年度は、テーマを少し変えさせていただきまして、イベント内容がイメージできるようにということで、「見て、参加して、考える」～三浦の恵みを生かした学校給食～をテーマとして設定させていただきまして、3 月 18 日（土）午前 11 時から午後 2 時まで、初声市民センター 2 階講堂をメイン会場として開催させていただきます。

内容につきましては、展示コーナーで、三浦市の学校給食の歩みや共同調理場での作業の様子等をご紹介します。

また、ゲーム・クイズコーナーでは、参加型ということで、豆つかみゲーム、釣りぼりゲーム、匂い当てクイズ、○×クイズなどがあります。

また、給食試食コーナーにおきましては、午前 11 時 30 分から、先着 120 食分をご用意いたしまして、今年度は、三浦冬野菜のカレーライス、サラダ、デザート、牛乳というメニューで実施をさせていただきたいと思っております。

なお、広報につきましては、三浦市民 3 月号への掲載予定、市のホームページによる周知及び庁舎内や商店などにポスターの掲示をお願いしているところでございます。

教育委員の皆さまには文書によりご案内させていただいておりますので、ご都合が付けば、ぜひお越しいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 給食展の開始が 11 時なのに試食が 11 時 30 分からなのはなぜですか。

○松下学校給食課長 試食までの時間は展示を見ていただく時間として考えております。

○三壁教育長 他にございますか。なければ先に進めます。

次に、(3)第 35 回三浦国際市民マラソンの開催について及び(4)第 71 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について、以上は文化スポーツ課の事業ですので、一括で説明をお願いいたします。

○堀越文化スポーツ課長 第 35 回三浦国際市民マラソンの開催につきましてご説明をさせていただきます。

議案・資料 8 ページから 11 ページの資料 7 をご覧ください。

35 回目を迎えました今年の大会でございますが、3 月 5 日（日）に開催されます。

このマラソン大会は、三浦市でも最大級の行事で、市では 9 つの運営部会を設けて実施をしています。

9 つの部会には総務部会、参加者対策部会、救護医療部会、広報部会、災害対策部会などがございますが、教育委員会は競技運営部会を担当します。

競技運営部会は、ランナーが安全に安心して競技に参加できるよう、決勝審判や走路員等スタートからゴールまでおよそ 250 名の体制で運営に取り組みます。

今回の競技種目につきましては、これまで行われてまいりました 5 k m、10 k m、ハーフマラソン、そして砂浜で行われますキッズビーチランのうち、今大会より 10 k m の部が廃止されて、5 k m、ハーフマラソン、キッズビーチランの 3 種目になりました。

これに伴い制限時間も変更されて、5 k m が従来の 40 分から 50 分となり 10 分の延長、ハーフマラソンが 2 時間 20 分から 40 分延長され 3 時間となりました。

キッズビーチランに関しては変更はございません。

また、10 k m の部が廃止されたことに伴いまして、募集人員も変更されました。

5 k m が従来 2,000 人だったものが 3,000 人、1,000 人の増でございます。

ハーフマラソンが 5,000 人から 7,000 人ということで 2,000 人の増となりました。

今年のエントリーの状況といたしましては、5 k m が 3,000 人の募集人員に対しまして 4,059 人、ハーフマラソンが 7,000 人の募集人員に対しまして 1 万 111 人、キッズビーチランが 255 人で、3 種目で 1 万 4,425 人という合計でございます。

昨年が 1 万 4,233 人だったのに対しまして、192 人の増加という状況でございます。

競技につきましては、ハーフマラソンが 9 時ちょうどにスタートいたしまして、30 分後の 9 時 30 分に 5 k m の部がスタートする、このように変更されてございます。

競技開始に先立ちまして、8 時から砂浜のステージにおきまして開会式が執り行われます。

特にお席のご用意はございませんが、教育委員の皆さまにおかれましては、スタッフジャンパーを着用いただきまして、開会式にご参加をいただければと存じます。

なお、スタッフジャンパーをお持ちでない委員さんがいらっしゃいましたら、ご用意してございますので、会議終了後にお渡しをさせていただきたいと思っております。

続きまして、第 71 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の競技結果について、ご報告させていただきます。

本日配付をさせていただきました資料 8 をご覧ください。

本大会は、神奈川県、神奈川陸上競技協会、神奈川新聞社が主催する県下最大の駅伝大会でございます。

今年は、昨日 2 月 12 日（日）に開催されました。

県下の 19 市、11 町、合計 30 市町が参加をいたしまして、三浦市代表チームは 2 時間 51 分 50 秒のタイムで 19 位という成績でございました。

資料は、三浦市代表選手の記録と三浦市の最高記録、そしてこの大会の大会記録を区間ごとに記載してございます。

また、今大会全体のレース結果が記載されてございますので、ご一読いただければと思います。

なお、三浦市チームから5区で出場いたしました柴内康寛選手は、本大会に10回目の出場となりまして、その表彰を閉会式で受けております。

以上で文化スポーツ課からのご説明を終了いたします。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○玉井委員 スペシャルゲストにミス日本の方が選ばれたのはなぜですか。
マラソンとは関係のない方だと思うのですが。

○三壁教育長 それについては、マラソン全体の担当である営業開発課でないと答えられません。

教育委員会は、競技運営部会ということで競技の運営をしています。

その上でいまの質問についてですが、マラソンというのは記録だけではないという意味合いも含めてそういう方がゲストで来たり、華やかさを出したりする意味もあるかもしれません。

開会式の時間にはランナーは皆走る準備をするので、開会式を見る人は少ないのですが、いずれにしても選んだ理由についてはわからないというふうにお答えするしかないです。

○大西教育部長 表彰式などのプレゼンターとしても大切な人なのではと思っております。

○三壁教育長 特別ゲストで渡辺真知子さんが来たり、演歌歌手が来たり、もちろんランナーも渋井さんなどの有名選手が来たりしたこともありました。

今回、高橋尚子さんがゲストで来たりしますが、そのほかの部分ですよね。

○玉井委員 ほかの部分です。

○三壁教育長 これは確認しておいた方がいいですよ。
部長の言った理由が正しいかもしれません。

○大西教育部長 はい。

○三壁教育長 前夜祭などもあるので、そういう所にも招待しているのではないのでしょうか。

○三壁教育長 競技運営部会を担当している教育委員会としては、城ヶ島大橋や江奈湾の所が工事中という状況があるので、営業開発課や関係の土木課、県土木、東部漁港事務所、こういう所と十分協議しておくようお願いをしておきます。

○三壁教育長 他にございますか。なければ先に進みます。

それでは、(5)平成 28 年度みうらっ子ライブラリー～図書館ビンゴ～の開催結果について並びに(6)平成 28 年度みうらっ子ライブラリー～ひみつのタネ調査隊及び読書スタンプラリー～の開催について、以上は図書館の事業ですので、一括で説明をお願いいたします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 それでは図書館より、平成 28 年度みうらっ子ライブラリー図書館ビンゴの開催結果についてご報告いたします。

議案・資料 12 ページの資料 9 をご覧ください。

この催しは、平成 28 年 11 月 4 日（金）から平成 29 年 2 月 1 日（水）までの約 3 か月間、図書館本館において開催したものです。

内容は、幼児から小学生を対象に升目に本の種類やテーマが書かれたビンゴカードを配付いたしまして、テーマに合った本を借りた参加者のカードの升にスタンプを押印し、スタンプが 1 列に揃ういわゆる「ビンゴ」になりましたら、プレゼントを差し上げるというものです。

1 列ビンゴになった時には紙のしおりを、3 列のビンゴで切り絵をラミネートしたしおりを、9 つの升を全部埋めた方には折り紙のメダルをプレゼントいたしました。

資料に写真が 2 枚ありますが、右の写真が、3 列のビンゴでプレゼントしておりましたラミネートのしおりで、左の写真には折り紙のメダル等を載せております。

開催期間中には、延べ 91 名の幼児・小学生にご参加いただくことができました。

このビンゴゲームに参加する中で、本に親しみ、読書の達成感が得られたことは、子どもたちだけでなく保護者の方々からも大変好評で、子どもたちが図書館に足を運び、本を読むきっかけづくりとして、この催しの目的は達成できたものと考えております。

図書館ビンゴの開催結果について、説明は以上です。

続きまして、来月 3 月に開催する「みうらっ子ライブラリー」の催しについてご説明いたします。

本日配付の資料 13 をご覧ください。

昨年 11 月から開催しております「みうらっ子ライブラリー」の催しの第 3 弾としまして、3 月 20 日（月）春分の日朝 10 時から、図書館本館学習室におきまして、「ひみつのタネ調査隊」を開催いたします。

参加定員は 20 名で、3 月 9 日（木）朝 9 時から先着順で募集をいたします。

こちらの催しの内容といたしましては、幼児から小学生を対象に、学校図書館支援員による、植物の「種」をテーマにした絵本の読み聞かせを行いまして、その後、野菜の種や葉・花・実の組合せを、絵合わせ形式のゲームで参加者に考えてもらうという催しを行います。

その後、本の紹介等のリストの配付等を行う予定でございます。

また、この催しの後には、資料の裏面にございます 3 月 22 日から開催いたします「花いっぱいになあれ 読書スタンプラリー」というイベントをルールの説明を兼ねて先行して行います。

3 月に開催いたします「みうらっ子ライブラリー」の催しにつきまして、説明は以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 ひみつのタネ調査隊の催しについて、指導はどなたが担当しますか。

また、ボランティアの方たちが参加されるのか、説明してください。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 こちらの催しにつきましては、学校図書館支援員さんに本の読み聞かせをはじめ、進行全体をお願いしておりまして、それ以外の副担当につきましては図書館の職員で対応する予定であります。

○菊池教育長職務代理 人数を教えてください。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 学校図書館支援員 1 名に進行等をお願いしまして、図書館の職員は 3 名で対応する予定でございます。

○三壁教育長 図書館が青少年会館にあった時も一生懸命頑張っていたと思いますが、場所が移動になってから非常に図書館が活発にいろんな事業を実施し、良くやっているととても強く感じています。

 このところ、定例教育委員会でもいつもこのようなアンケートの結果について、参加者の満足の声や今後の要望などが報告されていますが、こういうことも含めて、引き続き頑張ってください。

○三壁教育長 他にございますか。なければ先に進めます。

 続きまして、三浦市社会教育講座（7）料理講座「春の飾り巻き寿司」及び（8）「親子農業体験教室」の開催について、以上は南下浦市民センターの事業ですので、一括で説明をお願いいたします。

○小川南下浦市民センター館長 それでは、南下浦市民センターから 2 つの社会教育講座の開催について説明させていただきます。

 議案・資料 13 ページの資料 10 とテーブルの上の写真をご覧ください。

 春の季節をテーマに、季節の食材を使用した「春の飾り巻き寿司」の料理講座を、3 月 22 日（水）10 時から 13 時まで南下浦市民センターで開催いたします。

 メニューは、桃の花巻き寿司、魚のみぞれ煮、根菜サラダ、お吸い物、プチデザートでございます。

 講師は、南下浦市民センターの社会教育指導員をしております石渡久子氏でございます。

 昨年も春に同類の料理講座を開催いたしまして、評価が高かったので、今回もこの春に料理講座を開催させていただきます。

 次に、議案・資料 14 ページ、資料 11 をご覧ください。

 情報社会の中で心身ともにゆとりを持って体験的な学習をし、親子や友達と土に触れ合いながら、収穫の喜びや新しい発見など、世代を超えたコミュニケーションの場を提供することを目的に「親子農業体験教室」を 4 月 8 日（土）9 時から説明会を開催いたしまして、その後、初声町和田にあります実習地において、4 月から 10 月まで計 10 回実習をいたします。

 この講座は平成 5 年から毎年開催しておりまして、参加者からのリクエストが多いことから、今回はなるべく多くの方に受講していただきたいので、初めての方を優先させていただいております。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 この飾り巻き寿司インストラクターというのは、私は初めて聞く言葉なのでインターネットで調べたら作っている様子が出ていましたが、レパートリーが豊富なのです。

このような団体があるのかということが初めてわかりまして、こういうものも面白いなと思いました。

団体としては大きい団体ということがよくわかりました。

○玉井委員 飾り巻き寿司は、いま中学校の英語の教科書に「KAZARIMAKIZUSHI」等と載っているのです。

ですので、中学生等でも来られるような土日等に開催すると、意外に興味を持って参加されるのではないかなと思いました。

○小川南下浦市民センター館長 玉井委員さんの意見を参考に、日程等におきましては今後検討していきたいと考えます。

○三壁教育長 他にございますか。なければ、続きまして、(9)三浦市社会教育講座「子ども料理教室」～手作りソーセージとパンケーキ～の開催について、説明をお願いいたします。

初声市民センターの見上館長が今日は体調不良でお休みということなので、文化スポーツ課長が説明してください。

○堀越文化スポーツ課長 見上館長に代わりまして、私からご説明をさせていただきます。

「子ども料理教室」の開催についてご説明いたします。

議案・資料 15 ページ、資料 12 をご覧ください。

今回は、手作りソーセージとパンケーキを作ります。

ソーセージは、ひき肉に玉ねぎや香辛料を混ぜ、子どもにも簡単にできるようラップを使って包み、蒸した後に焼きます。

パンケーキはホットケーキミックスに卵を混ぜ、ホットプレートで焼いて作ります。

開催日時は、3月25日（土）午前10時から12時までで、場所は、初声市民センターです。

講師は、三浦市給食調理場の元職員で、平成26年度から料理講座の講師をお願いしております、調理師の中島睦子さんです。

定員は15人、受講料は400円です。

2月号の広報紙「三浦市民」、市のホームページに掲載し、タウンニュースにも掲載をお願いしてございます。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 よろしいですか。それでは、次第8「その他」に入りたいと思います。
委員の皆さんから何かございましたら、よろしくお願いいたします。

(発言等なし)

○三壁教育長 ないようでしたら、事務局から、後援の関係の減免についてわかったようですので、説明してください。

○堀越文化スポーツ課長 体育館等のスポーツ施設に関しましては、現在、指定管理者制度を採用しております。

これらの施設の減免につきましては、市の条例に基づく利用料金の上限といたしまして、減免基準につきましては、指定管理者からの申請を受けて市が承認するという形を採っております。

減免につきましては、全額免除、2分の1減額、5分の1減額がございしますが、先ほどの三浦市サッカー協会第4種委員会の場合は、市又は市の機関が後援する集会、行事、体育競技等に利用する時に該当いたしまして、5分の1の減額をさせていただきます。

○三壁教育長 2分の1減額はありますか。

○堀越文化スポーツ課長 2分の1減額につきましては、官公庁が公益のために入場料を徴収して使用する時で、県等が開催する場合は2分の1減額でございます。

全額免除は、市及び市の機関が主催する事業ということで、3段階の減免の基準がございします。

○三壁教育長 その規定があるのは条例ですか、規則ですか。

○堀越文化スポーツ課長 条例に利用料金の上限が決めてございまして、減免につきましては、指定管理者が減免基準について市に申請し、市がそれに対して承認するものです。

指定管理者と市で協議した結果、このような減免基準となりました。

○三壁教育長 他にございますか。

(発言等なし)

○三壁教育長 ないようでしたら、以上で「その他」を終了いたします。

○三壁教育長 それでは続きまして、次第6「審議事項」の人事案件に入ります。

非公開での審議になりますので、関係職員以外の退室をお願いいたします。

なお、教育委員会定例会につきましては、関係職員以外が退室したままで終了といたします。

傍聴者の方も、恐れ入りますがこれにて退出をお願いいたします。
それではこれで退出してください。

(職員・傍聴者退出)

○三壁教育長 それでは、議案第3号 県費負担教職員の人事異動についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○五十嵐学校教育課長 それでは、県費負担教職員の人事異動についてご説明いたします。

議案・資料5ページ、資料4をご覧ください。

三浦市立小学校及び中学校の県費負担教職員の人事異動について、三浦市教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第6号の規定により、別紙のとおり申出をすることについて承認を求めるものでございます。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 それではお諮りいたします。

議案第3号「県費負担教職員の人事異動について」、原案のとおりとすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。

ご異議ないようですので、そのように決しました。

以上で非公開の「審議事項」を終了いたします。

これをもって、平成29年第2回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午後3時49分 閉会 ◇
